

人口減少に対する 取り組みについて

山本 一恵 議員

質問 少子化と人口減少が進む中、歯どめをかけることは難しいが、せめて緩やかにできないかと、各自治体も懸命に対策に取り組んでいます。

本村でも、人口減少が顕著であり、ことしの1月から6月までに、181人の減少となりました。そこで、本村として人口減少の歯どめをかける施策がどのように進められているか、少子化対策、定住促進対策、空き家対策、生活環境の整備について、現状と今後の取り組みについて伺います。

答弁（総務部長） 定住促進対策については、定住人口の増加を促進し、活力あるまちづくりの推進を図ることを目的として、美浦村

定住促進条例を制定し、平成24年1月2日に施行しました。1回目の申請は、平成26年3月なので件数はありませんが、問い合わせは月に6件ほどあります。

空き家対策については、村内の定住促進と地域活性化、空き家の減少による地域の防犯・防災対策を目的とし、4月から美浦村空き家バンク事業をスタートしました。

空き家の情報・内容を充実させ、ホームページ等を通じて提供していきたいと考えています。

答弁（保健福祉部長） 少子化対策について、保育所に通所している子どもと親だけでなく、園庭を開放し、地域の親同士のかかわりを

サポートし、学び合いの場を提供しています。一時保育、統合保育、地域ボランティアの活用など、今後も地域の実情に合った支援を探りながら継続していきま

す。そして、保育料の無料化については、今後も検討していきます。

また、生活環境の整備として、やまゆりタクシーについてアンケートや要望を聞き、今年度改善しましたが、引き続き利用者や地域の実情に合ったデマンド交通を推進します。

答弁（経済建設部長） 人口減少に対する取り組みとして、125号バイパス開通早期実現を目指し、大谷地区総合まちづくり構想地区計画を具体化します。また、安中地区の週末ファミリーについても、具体化に向け検討し、活性化につなげていきます。

そのほか、都市計画道路、生活道路についても、計画

に基づき整備を進めていきます。

答弁（村長） 人口減少の対策として、住んでみたい住み続けたい村にするためには、近隣と同じでは魅力を感じないので、特色を出し、美浦村方式を取り入れたいと思います。デマンド交通のやまゆりタクシーもそうですが、特化した部分で協議を進めていきたいと考えています。美浦村方式なるものができれば、住んでみたいと思い、またここから出て行かないということと、人口減少の歯どめになるかと思えますので、その辺も含め、検討していきます。

